

# ヘルスマーター

## COPDについて

COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病名を聞いたことがありますか。この病気は長年の喫煙が原因となって起きる生活習慣病と考えられています。たかが喫煙と思われるかもしれませんがWHO（世界保健機関）の報告では平成24年のCOPDによる死亡は300万人を超え、全世界の6%に相当するとされています。

喫煙されている方は、咳や痰が多いことを自覚されていることがあります。気管支喘息の様な症状が出る場合もあります。長期間の咳や痰からしだいに息切れ症状が出現し、更に進行すると、正常なガス交換ができなくなり、日常生活の動作も苦しくてできなくなってしまうことがあります。喫煙者本人だけでなく、周囲の方も受動喫煙や滞留喫煙（室内環境に残されたタバコの煙の残留物による）の害を受けることもあります。

改善が難しいと考えられていましたが、自律神経系に作用して気管を拡張させる薬や気道の炎症を調整する薬を組み合わせる治療が検討されて、症状の改善だけでなく、長期的な効果も期待されてきています。なにより禁煙で予防できる疾患です。

診断は、症状や喫煙の長期経過、肺機能検査、胸部X線検査や心電図、CT検査などを合わせ、喘息やうっ血性心不全、気管支拡張症など他の原因を検討して行われます。

症状を十分自覚されておらず、受診されるきっかけまで至っていない方もいらっしゃいます。当院での健診や人間ドックでも、質問票や胸部X線検査、肺機能検査などを通して、疾患の兆候にできるだけ早く気づき、進行が予防できるようとの考えで日々取り組んでいます。ぜひ健診を積極的に健康維持に活用してください。